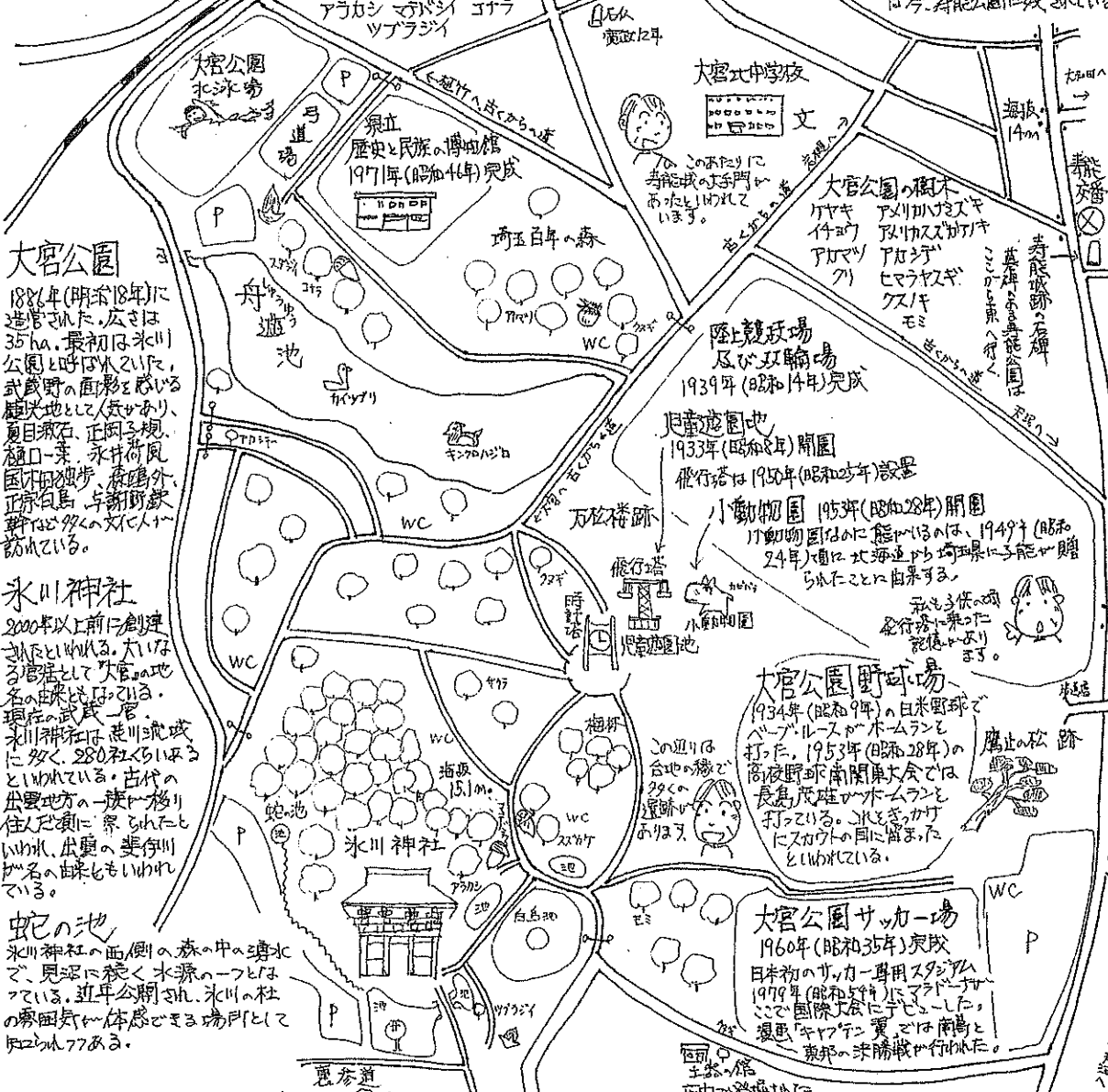


# どんぐり 団栗いろいろ! 秋の大宮公園



大宮公園の舟遊池(ボート池)に、冬鳥のキングロハジロが来てきました。冬はもう聞かないです。池は、今秋、12年ぶりの「かいぼり」を行って水を抜かれています。来春には再び水が入ります。かいぼりによって水質改善した池など、いろいろな生き物が見られるが、今から楽しんでいます。

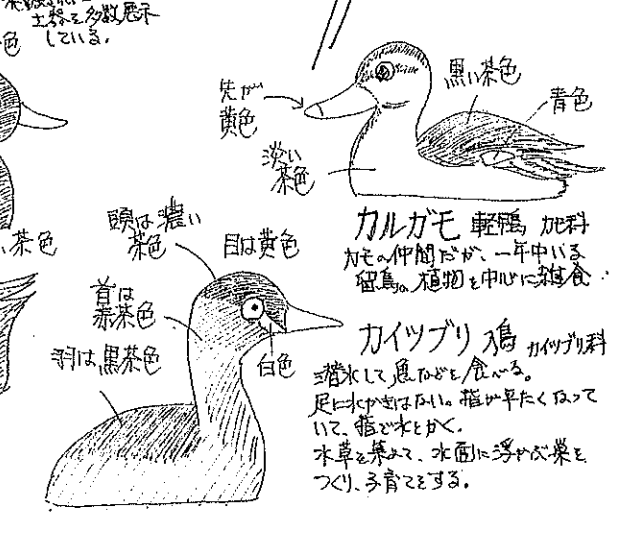
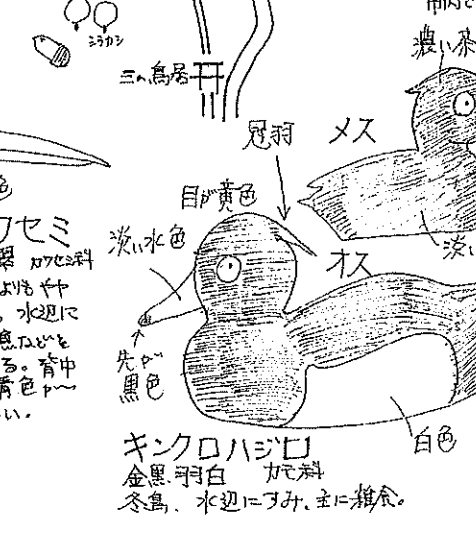
2022.10.25調査  
小川 清



**大宮公園**  
1881年(明治14年)に造られた。広さは35ha。最初は米川公園と呼ばれていた。武蔵野の風景を模した庭園と、夏目漱石、正岡子規、樋口大祐、永井荷風、国分田歩、森島外、正原貞吉、宇野浩二、新藤兼人などの文豪が訪れている。

**氷川神社**  
2000年以上前に創建されたといわれる。大いなる宮庭として大宮の地名の由来とされている。現在の武蔵一宮。氷川神社は、武蔵流域に多く、280社くらいあるといわれている。古代の土曜地方の一族の格別住人として、祭られたといわれ、出雲の斐伊川が名の由来ともいわれている。

**蛇の池**  
氷川神社の西側の森の中の湧水で、見沼に続く水脈の一つとなっている。近年公開され、氷川の社の参道と一体感を感じる場所として知られるようになった。



**カワセミ** カワセミ科  
スズメよりやや大きい。水辺にすみ、魚などを食べている。背中の鮮やかな青と茶色も美しい。

**キングロハジロ** 金黒羽白 加科  
冬鳥。水辺にすみ、主に雑食。

**カルガモ** 軽鴨 加科  
カモの仲間だが、一年中いる留鳥。植物を中心に雑食。

**カイツブリ** 鴨科  
水辺にすみ、魚などを食べる。足は水かきには強い。稚鳥は早く泳いでいて、水をかく。水草を食べて、水面に浮かぶ葉をつり、子育てをする。

## 寿能城

1560年(文禄3年)頃に、岩付城の攻めにより築かれた。東と見沼との間に谷津に囲まれた台地上にある。城主は太田資正の三男、頼田資忠。1590年(天正18年)豊臣秀吉、十田原攻めの際に、頼田長政に攻められて築城した。頼田の加藤清成は、米川神社の興隆に、武蔵の祖北沢宗天はこの一旗。1738年(享和3年)頼田資忠の子孫の古河藩の藩主、頼田資方、家督であった北沢宗天に、城の堀見橋跡に墓塚を建てさせた。今は、寿能公園に築かれている。

寿能交番橋に立つ城跡の石碑

**かいぼり**  
大宮公園舟遊池は、今年12年ぶりに「かいぼり」を行って、水を抜かれています。池の水を抜き、汚泥を除去し、池底を平らにし、外周の排水管も取り替えて、水質を改善し、生態系を保全して行われています。11月3、4日には、稚鳥の飛翔が行われました。来春3月には再び水が入ります。

**鷹止の松**  
徳川家光が、この地で鷹狩を行った時、大勢の鷹の足跡が、この松の根元に残ったといわれています。鷹は鷹止の松に近づくと、この松の木の葉を見つかりました。以来、この松を鷹止の松とよばれるようになりました。この松は、徳川家光が鷹止の松に鷹を止めたことにちなんで、鷹止の松とよばれるようになりました。鷹止の松は、昭和30年代に枯れてしまいました。